

美浜町が目指す子ども像・基本理念（事務局案） （第4回検討委員会を踏まえた事務局案としてのとりまとめ）

美浜町が目指す子ども像（事務局案）

「ふるさと美浜を想い 自ら考え 人とつながり 未来を切り拓く子ども」

① ふるさとを想い、地域に誇りをもつ子ども

美浜町の自然・歴史・文化・人とのつながりを大切にし、地域への感謝や誇りをもち、将来は地域や社会に貢献しようとする子ども

② 自ら学び、考え、挑戦する子ども

夢や目標をもち、変化する社会の中でも主体的に学び続け、自分で考え、判断し、行動できる子ども

③ 思いやりをもち、多様な人と協働できる子ども

相手を尊重し、多様な価値観を認めながら、自分の考えを伝え、互いに支え合い、ともに成長できる子ども

④ たくましく未来を生き抜く子ども

困難にも粘り強く挑戦し、防災意識や課題解決力を身に付け、AIやデジタル技術も適切に活用しながら、自ら未来を切り拓く子ども

基本理念（事務局案）

「9年間の連続した学びを通して、一人一人の可能性を伸ばし、『生きる力』を育む」

① 郷土を学び、ふるさとを想う心を育む教育を推進します

美浜町の豊かな自然、歴史、文化、産業、人とのつながりを生かした体験活動や地域学習を充実させ、地域への誇りと愛着を育みます。また、防災教育や環境学習を通して、自ら地域について考え、地域を守り支える意識を育みます。

② 9年間を見通した系統的な学びを実現します

小学校から中学校まで切れ目のない教育課程を編成し、学習・生活・成長を一貫して支援します。中1ギャップの解消や、一人一人の発達に応じたきめ細かな指導により、安心して学び続けられる教育環境を整えます。

③ 主体的に学び、未来を切り拓く力を育みます

確かな学力を基盤として、自ら課題を発見し、考え、判断し、表現する力を育成します。また、AIなど新しい技術を適切に活用する力や情報活用能力を育み、変化する社会に対応できる資質・能力を養います。

④ 豊かな人間性と協働する力を育みます

異学年交流や地域との交流を通して、人を思いやる心やコミュニケーション能力、多様性を尊重する態度を育みます。一人ひとりが安心して過ごせる学校づくりを進め、自己肯定感を高めながら社会性を育みます。

⑤ 学校と地域が学び合い、つながる教育を推進します

家庭・地域・学校がつながり、世代や立場を超えた多様な人々との出会いや交流、体験を通して、子どもたちの夢や希望を育みます。また、学校を地域の学びと交流の場として、子どもと大人が互いに学び合い、それぞれの経験や力を生かしながら、ともに成長する教育を推進します。

第4回検討委員会の振り返りを踏まえた事務局案の考え方

① ふるさとを想い、地域に誇りをもつ子ども

美浜町の自然・歴史・文化・人とのつながりを大切にし、地域への感謝や誇りを持ち、将来は地域や社会に貢献しようとする子ども

観点	委員会が出された意見
郷土愛	「ふるさとにほこりを持ったこども」「ふるさと愛」「故郷を思う子ども」
地域への貢献	「地域を支える自覚」「貢献できる子」「生まれ故郷に貢献できる子ども」
地域への感謝	「地域の方々の支えてくれるに感謝できる子」
自然への愛着	「美しい自然環境で育まれる心情」「自然の豊かさ（農業、漁業、松林）」
地域文化	「秋祭などの行事に関わることで地域への関心を持つ」
美浜町ならではの学び	「美浜町のオンリーワン（アメリカ村、煙樹ヶ浜など）」
将来とのつながり	「美浜町に残って欲しい」「将来美浜町に戻り、母校で子育てをしたい」

⇒単に「郷土を知る」のではなく、「美浜町で育ったことを誇りに思い、地域を支える人になる」というところまでを目指す姿とした。

② 自ら学び、考え、挑戦する子ども

夢や目標を持ち、変化する社会の中でも主体的に学び続け、自分で考え、判断し、行動できる子ども

観点	委員会が出された意見
自分で考える	「自分で考える事が出来る子」
判断する	「正しい判断ができる」「事の善悪を見分けられる」
情報を見極める	「情報がたくさんある中で判別できる力」「真偽を考える力」
自分の考え	「根拠（考え）をもって yes,no が言える」「自分の意見を持った人」
主体性	「単独でも集団でも動ける力」
向上心	「向上心をもって努力できる」
夢・目標	「夢や希望や目標を持って次のステップへ」
学び続ける	「環境に適応し、学び続ける力」
挑戦	「何事も一生懸命やる」「ふんばる力」

⇒従来型の「教えてもらったことを身につける子」ではなく、自分で考え、判断し、学び続ける子を目指す方向性とした。

③ 思いやりをもち、多様な人と協働できる子ども

相手を尊重し、多様な価値観を認めながら、自分の考えを伝え、互いに支え合い、ともに成長できる子ども

観点	委員会が出された意見
思いやり	「優しい気持ち」「人や物を思いやる心」「思いやりを持つ子」
相手を理解する	「人の気持ちが分かる」「相手のことが理解できる」
多様性	「いろいろな考え方を認められる」
コミュニケーション	「誰とでもわかりあえる力」「コミュニケーション能力」
表現する	「しっかりと他人に言葉で伝える」
協働	「難しいことでも力を合わせて解決する」
異年齢交流	「学年をこえた交流が多い」「異学年やいろいろな世代の意見を聞く力」
地域との交流	「近所の人や地域の人と交流しながらコミュニケーション力を育む」
人間関係	「人間関係における協調性を学ぶ」

⇒特に重要なのは、「優しい子」と「コミュニケーション能力」を別々に捉えず、「相手を理解し、自分の考えも伝え、ともに活動できる力」として統合する力であると捉えた。

④ たくましく未来を生き抜く子ども

困難にも粘り強く挑戦し、防災意識や課題解決力を身に付け、AI やデジタル技術も適切に活用しながら、自ら未来を切り拓く子ども

観点	委員会が出された意見
困難への対応	「困難なことにぶつかっても立ち直る力」
粘り強さ	「ふんばる力」「努力する大切さ」
課題解決	「力を合わせて解決する力」
社会への適応	「次代に即応した人間」「社会情勢を読む力」
AI・ICT	「先端技術（AI など）を利用する力（左右されるのではなく）」
情報社会	「SNS 等に流されない子ども」
防災	「津波からどう命を守るか」「防災意識・防災知識」
危機管理	「台風の怖さを知り、対応する力（危機管理能力）」
主体的な防災	「防災について自分で考え、実行する力」

⇒単なる「たくましさ」ではなく、「変化・困難・災害・情報化社会に対応し、自分の力で未来を切り拓く力」として捉えた。

① 郷土を学び、ふるさとを思う心を育む教育を推進します

美浜町の豊かな自然、歴史、文化、産業、人とのつながりを生かした体験活動や地域学習を充実させ、地域への誇りと愛着を育みます。また、防災教育や環境学習を通して、自ら地域について考え、地域を守り支える意識を育みます。

委員会で出された意見

「町全体の地域学習から地域愛を育む」
「体験的学習の充実（地域や自然）」
「自然の豊かさ（農業、漁業、松林）」
「海、山のある美浜町ならではの知識」
「松林、海を守っていく」
「秋祭などの行事へ関わることで地域への関心を持つ」
「地域学習（三尾の文化、城跡）」
「美浜町のオンリーワン（アメリカ村、煙樹ヶ浜など）」
「ふるさとを大切に思う気持ち」

<考え方>

- ・「美浜町で学ぶこと」そのものを、小中一貫教育の大きな特色にする。
- ・単発の「地域学習」ではなく、9年間を通して「知る→体験する→好きになる→関わる→支える」へと発展させる。

② 9年間を見通した系統的な学びを実現します

小学校から中学校まで切れ目のない教育課程を編成し、学習・生活・成長を一貫して支援します。中1ギャップの解消や、一人一人の発達に応じたきめ細かな指導により、安心して学び続けられる教育環境を整えます。

委員会で出された意見

「小学校から中学校への気持ちの面での安心」
「中1ギャップの解消」
「6・3制にとらわれないカリキュラムによるステップアップ」
「小中のスムーズな接続」
「小学校から中学校への学習面でのスムーズな流れ」
「小学校での学びを生かした中学校教育」
「先の学年を見据えた学習」
「下級生へのフォロー体制」
「中学生が小学生のあこがれ（目標）の姿となる」
「小学生は中学生の学び方を見て憧れや目標を持つ」

<考え方>

- ・小中一貫教育の最大の制度的メリットを、単に「小学校と中学校が同じ校舎にあること」とせず、「9年間を一つの成長のストーリーとしてつなぐこと」と捉える。

③ 主体的に学び、未来を切り拓く力を育みます

確かな学力を基盤として、自ら課題を発見し、考え、判断し、表現する力を育成します。また、AI など新しい技術を適切に活用する力や情報活用能力を育み、変化する社会に対応できる資質・能力を養います。

委員会で出された意見

「自分で考える事が出来る子」
「自分の意見を持った人」「根拠をもって yes,no が言える」
「情報がたくさんある中で判別できる力」「真偽を考える力」「SNS 等に流されない」
「社会情勢を読む力」
「先端技術（AI など）を利用する力」「デジタルに頼りすぎない」
「環境に適応し、学び続ける力」
「どう生きていきたいかを展望できる」

<考え方>

- ・小中一貫校の教育方針では「学力向上」を独立した目標として掲げるのではなく、確かな学力を土台として、それを社会で活用する力まで育てる。

④ 豊かな人間性と協働する力を育みます

異学年交流や地域との交流を通して、人を思いやる心やコミュニケーション能力、多様性を尊重する態度を育みます。一人一人が安心して過ごせる学校づくりを進め、自己肯定感を高めながら社会性を育みます。

委員会で出された意見

「優しい気持ち」「人や物を思いやる心」
「いろんな考え方を認められる」
「人の気持ちが分かって行動できる」「人との付き合いができる」
「社交性」「あいさつができる」「コミュニケーション能力」
「自己肯定感を持つ」
「異学年やいろんな世代の意見を聞く力」
「学年をこえた交流」「たてわりによる異学年交流」「子ども同士のつながり」
「小中の先生と子どもたちの交流」
以下「通いたくなる学校」という観点
「仲の良い友達がいる」「自由に誰とでも話し合える」
「先生との距離が近い」「相談を気軽に話せる先生」
「いじめのない学校」

<考え方>

- ・「道徳教育」に限定せず、「人とのつながり」そのものを教育資源として活用する。

⑤ 学校と地域が学び合い、つながる教育を推進します

家庭・地域・学校がつながり、世代や立場を超えた多様な人々との出会いや交流、体験を通して、子どもたちの夢や希望を育みます。また、学校を地域の学びと交流の場として、子どもと大人が互いに学び合い、それぞれの経験や力を生かしながら、ともに成長する教育を推進します。

委員会で出された意見

「地域の方々の支えてくれるに感謝できる子」
「地域とのつながりから顔見知りの大人へ」
「地域の人との距離が近い」
「地域のぬくもり、あたたかさ」
「近所の人や地域の人と交流」
「地域住民との交流となる将来への夢」
「家庭におけるコミュニケーション」
「地域全体でのつながり」
「先生方の連携を生かした交流授業」
「教育環境（校舎・設備・人材）の充実」

<考え方>

・特に美浜町では、地域との距離が近いことが強みとして認識されているため、「地域に開かれた学校」ではなく、「地域とともにある学校」との位置づけで、美浜町らしい小中一貫教育を推進する。

まとめ

委員会の主な意見	育てたい力	目指す子ども像	基本理念
ふるさと愛、地域貢献、自然、祭り、松林、海、地域交流	郷土愛・地域貢献	ふるさとを愛し、地域に誇りをもつ子ども	郷土を学び、郷土を想える教育
自分で考える、判断する、自分の意見、夢、努力、学び続ける	主体性・思考力 判断力・向上心	自ら学び、考え、挑戦する子ども	主体的に学び、未来を切り拓く教育
優しさ、思いやり、多様性、コミュニケーション、異学年交流	人間性・協働性	思いやりをもち、多様な人と協働できる子ども	豊かな人間性と協働する力を育む教育
困難からの立ち直り、防災、情報選択、AI、社会変化への対応	レジリエンス 課題解決・情報活用	たくましく未来を生き抜く子ども	未来を切り拓く力を育む教育
地域とのつながり、家庭、教職員連携、小中交流	つながる力・社会性	— (上記を支える環境)	地域とともに成長し、つながる教育

9年間を見通した小中一貫教育として推進